

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
平成31年1月28日（月）
- 2 確認箇所
高台炉注水ポンプユニット
- 3 確認項目
弁ハンドルの管理状況

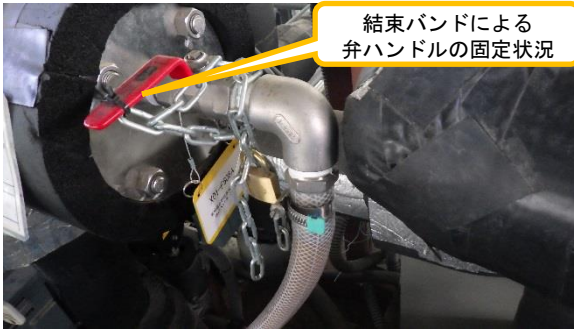
4 確認結果の概要

平成29年12月に、コック弁の弁ハンドルが固縛等の適切な措置がなされないまま現場に放置されていた事案が確認され、東京電力では、弁ハンドルの管理状態に関する総点検を実施するとともに、弁ハンドルの管理を明確化するなどの再発防止対策を実施した。今回、再発防止対策の実施状況を聴取するとともに、高台炉注水ポンプユニットにおける弁の管理状況を確認した。

- ・容易に取り外しできるコック弁のハンドルは取り外し、弁近傍にチェーン等で固縛し保管することや、容易に取り外しできない場合はチェーンロックや治具による固定を実施することなどを明記した「弁管理運用要領」を平成30年8月20日に制定し運用していた。
- ・弁番号、弁名称、弁の開閉状態、確認日及び操作場所等を記載した「バルブチェックリスト」を整備していた。
- ・現場を確認した高台炉注水ポンプユニットにおいては、取り外しが可能なコック弁の弁ハンドルは取り外され、弁名称及び番号が表記されて当該弁の近傍に固縛されており、適切に管理されていた。（写真1）
- ・また、容易に取り外しできないコック弁の弁ハンドルは、結束バンドで固定されたうえでチェーンロックされていた。（写真2）



（写真1）



(写真2)

- 5 プラント関連パラメータ等の確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。